

令和5年度

湖南省公共施設等マネジメント推進委員会
議事要旨

第1回会議

(令和5年 11 月 28 日開催)

湖南省行財政改革推進課

出席者

委員長 新川 達郎

委員 山崎 達也

久保 隆一

古市 泰丸

川上 昭

林 明美

事務局

総務部長 西岡 嘉幸

総務部次長 坂田 晃浩

行財政改革推進課長 森岡 和也

行財政改革推進課長補佐 山元 正樹

行財政改革推進課主査 檜崎 道清

総合政策部次長 今村 典生

地域創生推進課長 池本 未和

開会 午前9時40分

総務部長

【総務部長挨拶】

皆さん、おはようございます。

本日はお忙しい中、湖南省公共施設等マネジメント推進委員会にご出席いただきありがとうございます。皆さま方におかれましては、日頃から湖南省行政に、格別のご支援・ご協力を賜りこの場をお借りいたしまして厚くお礼を申し上げます。

本市におきましては、人口の減少や少子高齢化など暮らしを取り巻く環境が変化していく中、本市の総合計画で掲げております“まちの将来像”「ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南」の実現に向け、取り組んでいるところであり、その下支えとなる「第四次湖南省行政改革大綱」に基づき行財政改革を進めております。

そのような中、将来を見据えた持続可能な行財政運営と健全化のため、本市の身の丈に応じた施設保有量等の実現や、将来ニーズに対応した施設の再編成の方向性を示すものとして、平成28年3月に「湖南省公共施設等総合管理計画」を、その計画で示した方向性に基づいた施設の再編成や適正な維持管理による長寿命化の推進を図るために、令和3年3月に「湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画」を策定し、公共施設の適正化を進めてきたところでございますが、今般の総務省の指針の改訂内容や両計画の整合性を図っていくため、現在改訂に必要な作業を行っております。

本日の委員会では、この両計画の改定についてのご説明や湖南省版小規模多機能自治基本構想に伴う石部文化ホール、石部図書館の議案提出についての経過のご報告等をいたしますので、忌憚のないご意見をどうかよろしくお願いたします。

簡単ではありますが、開会にあたりましてのあいさつとさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願申し上げます。

委員長

【委員長挨拶】

おはようございます。

本市の公共施設につきましては、総合管理計画に基づきまして個別施設計画を立てられ、これまで着実に見直しを進めてこられてきているところであります。既に進んでいるところも沢山ありますが、一方で

は、中々難しく滞っているところもあります。この計画そのものをしっかり進めていくことが、将来にわたる本市市民の皆様方の市民サービスを維持していく上で、大変重要になってきているところでもございますので、各委員の皆様方には、この計画の改訂にあたりまして、忌憚のないご意見を頂いて、より良いこれからの本市の公共施設のあり方、方向付けを定めていければというふうに思います。

申し上げることもないことですが、人口減少、高齢化、そして、本市が持っております将来に渡る潜在的な社会経済構造について、これまでのような右肩上がりの姿ではなく、むしろ停滞からさらに衰退へという現象が明らかになってきております。その中でこれから本当に市民生活を支えていく行政のあり方は大変難しい舵取りが進められるということになります。加えて、建設資材或いはコストの増し方には大変厳しい状況もございます。将来にわたって、適正に維持管理をする本当に難しい作業が待っている状況にもございます。そうした中で、施設全体のあり方というものをどのように考えていくのか。それに対応する個別施設のあり方をより具体的に改革が進められ、そして市民サービスを維持していけるような施設再編にしていくということ、私たちは肝に銘じて考えていかなければならないということだと考えております。今日も限られた時間でございますけれども、委員の皆様方と知恵を絞っていければというふうに思っております。よろしく願いいたします。

事務局

【委員照会】

【事務局紹介】

【会議の成立についての報告】

【会議の公開、会議内容の公表についての確認】

議題1) 湖南省公共施設等総合管理計画について

事務局

【資料1に基づき説明】

委員

まちづくりセンターとコミュニティセンターの違いを教えてください。このことによりどのような効果が得られたのでしょうか。

事務局

今のご質問にお答えをさせていただきたいと思っております。小規模多機能自治の基本構想にも絡んできます。三雲まちづくりセンターと水戸まちづくりセンターをコミュニティセンターにすることによりまし

て、各4中学校区に一つずつのコミュニティセンターができる配置になるということで行ってございます。まちづくりセンターは、文化活動を中心とした地域活動の拠点とした位置付けのセンターでございます。コミュニティセンターにつきましては、利用基準を緩和し、今まで利用を制限されておられた事業所の利用やまちづくりセンターの利用基準で制限がかかっていた団体等に広く使っていただける施設ということで、誰もが使いやすい施設として、利用基準を緩和したということでございます。ご説明は以上でございます。

委員 市が管理してる土地は、今回の公共施設の扱いに入るのか入らないのか。市として、大きな財産であるが、放っておかれているという状況にしが見れない。売却も含めて有効活用することで、経費面は見直しを随分図れるものではないかと思う。

事務局 公共施設等総合管理計画で示させていただいている部分については箱物が入っておりまして、建物に対する経費である維持管理の部分と長寿命化改修等による経費が積まれています。ただし、資料に事業手法の適正化等による事業運用コストの削減という部分がございます。この中で遊休財産を売却することにより、削減を見込んでいくことを計画としては考えております。建物自身の面積、将来費用という部分もありますが、削減という部分の中には、遊休地の利活用もしくは売却という経費も含んだ計画であるということでございます。以上です。

議題2) 湖南省公共施設等総合管理計画および個別施設計画の改訂について

事務局 【資料2に基づき説明】

委員 計画改訂の考え方のところ、数値目標の設定とPDCAサイクルの確立について、努めることから望ましいに変更するとありますが理由は何かお聞きしたい。

事務局 国が指針を作り、全国ほとんどの自治体で総合計画を作成しています。示せるところもあれば、非常に困難と言われるような部分もあるのかなという推測の中で、望ましいというコメントに変えられたのかなと思われまます。本市としてはなるべく数的に示してるものは、示したいと思っておりますが、やはり難しい部分については見直しもしていき

たいというふうに考えています。この部分については、2回目のマネジメント推進委員会の時に説明できれば、説明させていただきたいと考えてます。

委員長

ありがとうございました。おそらく本委員会としては、数値目標の設定、そしてPDCAサイクルの確立ということは、本計画というのを進めていく上では、必須の条項であると考えておられる委員がほとんどだろうかと思います。PDCAサイクルの確立ということについては、基本的な方針として定まっておりますので、これに努めるということはある得ないのでやらないといけないというのが大前提ということになるかというふうに思っております。どういう表記にされるかというのは、今後ご検討いただければと思います。

委員

統廃合や複合化という表記から、統廃合（元）、複合化（先）となることはどういう意味があるんですか。

事務局

現在の表記ですが、ある二つの施設が統廃合ということで一本化されるというような表記になっていますが、どちらの施設が残るのか、どちらを除却するのかが明記できておりません。できる限り計画を見ていただいたらわかるように変えていこうかと考えております。

委員

基本条例や管理計画で表記されている長寿命化というのが、具体的にはどうすることか。老朽化対策で改修工事をするということか。

事務局

長寿命化は、施設の耐用年数が本来40年とした場合に、大規模改修の時に建物自体の寿命が延びる工事をし、50年あるいは60年もつ方法を取り入れるのが長寿命化となります。

委員

2点あります。会議そのものに出席させてもらうのは初めてですから、視点がずれてたら大変申し訳ない。本来、公共施設をマネジメントするというで考えると、公共施設は何の為にあるのかということから本当はスタートしていかないとまとまらないのではないかな。なぜなら公共施設は湖南市の顔であり、それで人が流入するのかがすごく左右されていく内容だと思います。一方的に効率化だけだと湖南市が持っている良さや本来やらないといけない事が偏りすぎていかない

いかという危惧がありますが、その辺はいかがでしょうか。

事務局

委員の仰る通りでございます。元々、公共施設等総合管理計画を策定する大きな目的というのは、施設を直していくだけではなく、真に必要な施設はどれであるかということをもちろん示していかないといけない中で、条例にもありますように、市民の生命、身体及び財産の安全を維持していくものであれば、建物の耐震というのは当然考えていかないといけないというものもあります。また、2にもありますように、資源の有効的な活用及び効率的な事業手法を考えて、次世代に過度の負担を残さないように公共施設を管理していかなければならないということが書かれております。その部分を前提とし、計画を進めていくことにもなります。今回の改訂は、大きな見直しをするわけではございませんが、国が示してる部分の追加、考え方に基づいて進めていきたいというふうに考えております。以上でございます。

委員

活用ということが出ていますが、今後の改訂の中で、例えば石部駅の改修で周辺についてこうするということが入ってくるのかどうか。図書館やホールなど他市の話を聞くと、施設の中で民間が様々提供されているということを知ります。民間企業が入っていくような施策というのをここに盛り込まれるのかどうか確認したい。

事務局

留意事項4で、国の方がPPP・PFI（民間連携）の活用ということを書いています。湖南省におきましても、民間連携の活用というのは、計画の中にも定めておりますので、この部分を考えながら、新たな施設を建築する時等に手法として検討していきたいというふうに考えております。以上でございます。

委員

各施設の個票に通称名や複合施設名の追加とあります。本当に一市民としてありがたいなと思います。先ほどの議会でも問題になったところの一つでございます。皆様方もご理解いただきやすい通称名というのを改めて明記をしていただくようお願いをして、次の個別施設計画で進めていただければと思います。

委員

個別施設シートとして、色をいっぱい使っていますけれど、見にくくなるので、工夫して出していただきたい。

委員長

基本的には国で示されました計画見直しの指針に基づきまして、人口推計や建設費の今後の動向を踏まえ、さらには公民連携も確実に進めていくということ、そして、全体としてはPDCAサイクルを確立していく観点を改めて確認いただき、次の計画を策定していただくということになろうかと思えます。個別施設計画については、分かりやすさ、説明責任を果たしていくという観点から個別施設シートという形式に組み立て直していくという方針を承りました。このシート自体ができるだけ見やすいもの、わかりやすいものになっていくために施設の一般的な名称であるとか統廃合や複合化の意味であるとか丁寧な記述について各委員からご指摘がございました。この辺りを踏まえまして、整合性を取っていただければというふうに思っております。なお、委員からもございましたけれども、市民サービスをどう持続可能にしていくのか、市民生活を支えていく重要な施設を、どういうふうに位置付け直し、将来そのサービスを続けていくことができるような施設にしていくことができるか問われているということがございます。こういう視点というのを、もう一度思い起こしながら計画改訂を進めていただければというふうに思っております。

事務局

議題3) 石部図書館・石部文化ホールについて

【資料3, 4に基づき説明】

委員長

石部図書館、石部文化ホールの廃止条例案についての市議会でのご議論、委員会でのご指摘等について経過をご説明いただきました。当委員会として、どうこうというレベルは超えておりますので、市民サービスを維持することができる持続可能な施設を考えていただくというのが基本で、これまでも審議を続けて参りました。この委員会でもこれまで議論をし、基本的な方針としては、市の方のお考えというのを当委員会としても了承しながらこれまできたという経緯がございました。ただ、具体的に何をいつどうするかということについては、これまでも当委員会でそれを決定するというようなことはございませんでしたので、今回こういう経緯についてまずはご報告をいただき各委員からも、忌憚のないご意見をいただければということでご話をいただいたところであろうかと思えます。いかがでしょうか。

委員

石部中学校区としては、少しコメントさせてもらったほうが逆にいいのかなと思って、あえてコメントさせていただきます。石部まちづくり

センターのセンター長も兼ねてます関係で、そこで地域の住民と深く接する機会も多々あります。基本的に小規模多機能自治構想は、誰も反対されてませんと認識しています。非常に将来的には有意義だという印象を私も受けてます。図書館そのものを、単純に取り壊すことに反対されてるわけでもないと思っています。図書館であり、文化ホールの本来のあるべき姿をもう少し考えて欲しいということが、住民の大きな願いだと思っています。住民の憩いの場であったり、寄り添う場。場の提供というところは今回の反対されてるところの要因になっていたのかなという印象があります。四つの中学校区という考え方の中で、住民の中では単純に統一的に四つに分ければいいのかという疑問を持っておられると思います。内容によっては、小学校区でやっていかないといけないこともあるので、単純に施設を一つに区切ってしまおうということは非常に住民としてはその不便性を考えておられるのではないかというようなどころが見受けられます。それと、住民サービスが途絶えるということに非常に危機感を持っておられたということじゃないか。計画を見ている限りでは、2、3年の空白の間はどうするかというところが非常に不安を持っておられたんじゃないかなという思いを伝えさせていただきます。

委員

石部文化ホールと石部図書館の統廃合が議会で否決されてしまったということに対して、これから何かこの委員会で話し合う意味があるのかどうか。経緯を聞いていると何となくアプローチが悪かった。素人的に図書館と文化ホールの統廃合は、甲西町と石部町が合併した時に、そもそも考えるべき話。それを今更、何となく言いづらいから小規模多機能機能自治の実施に抱き合わせてする説明をしようとしたところ、小規模多機能自治の内容がまだ詰まっていないがために、否決されてしまった。要は、図書館と文化ホールの統廃合が否決されたんじゃないかと、小規模多機能自治の内容に対してまだ煮詰まってないことが指摘されたというふうに感じました。従って、この統廃合はまた別なアプローチでぜひ考えるべきことかなと。それでないと、一般的に考えて、甲西町と石部町が合体した意味がないんじゃないの。いつまでもだらだらと引き延ばすのも問題だという意識もある。ぜひ別のアプローチを考える、もしくは小規模多機能機能の内容をもっと充実させて、反対意見が出ないような形で再提案するというようなことをやっていただきたいと思います。

委員

残念ながら否決されたということで、今後どうしていくんですか。議会でいろいろ議論になったことだけでも、非常に進展。ここ二、三年、市庁舎の建設が中断してから、何もなかったが、何か少しずつ動き出したのかなと。やはり市庁舎、文化ホールと図書館等の統合が根幹にならないと、なかなか小さい統廃合も進まないというふうに思うんですね。否決されてもくじけずに、また手を変え、品を替え、議案を提出して欲しいなと思います。先日、十二坊に上ったんですけども。市庁舎を含めてそこから全部見えるんですよ。あそこで市庁舎が二つあるかな。西庁舎はいらないと違うか。東庁舎はちょっと人員削減すればいいのかとか思いながら。それから図書館がこの距離で二つあるのか。下田とか全然遠い。なかなか市庁舎が新設されないというのは、防災意識がやはり低いのではないか。長年先人の教えに沿って、みんな心配していないのだらうなど。だから、この間まで補強工事しないと駄目だと言っていたけれど、それがもうどんどん下がり、全く議論されなくなった。2004年の10月に湖南省になった。この石部と甲西が合併するにあたって、ビジョンがあったんじゃないのか。色々なしがらみでできなかったということでしょうけれども、諦めずに進めて欲しい。50年後には8700万人に人口は減ると言っているし、財政もどんどん厳しくなってくるという中で、将来どうするかというのは、もう少し若い世代、50代から60代ぐらいがこの市をどうしようかと議論をさせて責任を持たせると活性化していくような気がします。私は湖南省が好きです。非常に便利で住みやすいですし、そういう点で市民の皆さんもみんな好きなんだと思います。あんまり変革したくないので、現状が好きだと思います。だけど将来10年、20年30年後、若い人はどう思っているかなというところが非常に心配で若い人が参画して、魅力のある審議をしていければ、いいんじゃないかなと思います。

委員

委員の仰ったことに本当に賛成です。同じような思いを持っています。湖南省が誕生して、2町が合併してもうすぐ20年になるんだなあと。その当時赤ちゃんだった子が20歳で成人しています。本当に進んでないように思うんです。公共施設の、統合・廃合とかについては本当に進んでいない。石部地域から東庁舎までの距離と、下田それから菩提寺北からの距離と比べましたら、下田の方がずっと距離があるんです。でも、石部地域の方とは心の面でまだまだ何か遠く感じます。30年後には本当に湖南省の人口は減りますよ。老年人口が増加し、若い世代が

減少するということで、税収の低下や社会保障費の増加が見込まれる。、基本条例の第3条にありますように、次世代に過度の負担を課さず、世代間の公平性が確保されるよう云々とあります。子供とか孫の世代に負担を残さないように、私たちは努めていきたいと思ひますし、また中学校、高校の地域の公平性も考慮して、このマネジメントを進めていただけたらと思ひます。それから湖南省はコンパクトな市なので、課題になっています文化ホール、図書館の統廃合、それから複合化といったことで、やはり進めていくべきではないかなと思ひます。それから小規模多機能自治については、地域におけるまちづくりの現状、課題として、区自治会の現状は、役員のなり手不足ということで、60代、70代の方も就労しているという現状がある中で、区長や自治会長の成り手がないうことで、本当に困ってらっしゃいますし、自治会の加入率の低さということもあります。そして民生委員児童委員のなり手不足ということで、今も定員に達してないというような状況があるかと思ひます。それから地域の老人クラブとか女性の団体の会員数も本当に大きく減少しています。そういった現状があることも考慮して、小規模多機能自治センターでの住民サービスのあり方を検討していただきたいと思ひます。以上です。

委員

二つのものを一つに。これは財政的に考えたら絶対そうせざるをえないことと思ひています。ただし、経費削減と同じレベルで、湖南省の魅力発信をして、人を流入させる施策を持っていかないと削減だけでは絶対成り立たないと思ひます。そのためにも公共施設は顔でありますので、どう扱うかによって、湖南省の魅力が変わってくると思ひます。だから、そこをまず重点に置いていただき、経費削減と同じレベルで取り組んで欲しいなというのがもう一番のねらいです。

委員

高松公園（旧市民グラウンド）のプロポーザルは、県内、大阪、東京と幅広いお客様が湖南省の工場用地としての利便性や多くの魅力を感じて興味を示しておられます。そういう意味では今進めておられる高松公園のプロポーザルというのは、人も入ってきますし、施設の維持コストも下がりますし、市としての魅力が上がる良い取り組みだと思ひますので、こういったことを引き続きやっていただければなというふうを考えております。

委員長

直接の議題でございます石部図書館、石部文化ホールの条例の否決

ということでご報告をいただきました。各委員からは、とりわけ今後の市としての方針、留意すべき様々な論点についていただいたかというふうに思っております。具体的な施設の統廃合ということにつきましては、現在の施設をそのまま置いておくということは難しいということについて、広く合意があるのではないかというふうに思っております。同時に、市民サービス・行政サービスをどのように持続可能な形で維持をしていくのか、どういう最適なレベルでのサービスを提供していくことができるのか。行政サービスというのは切れ目なく、提供され続けなければならないという性質もございます。そうした観点で、この施設の役割とか機能ということを、考えていただきたい。これが一つ大きな論点だったかなというふうに思っております。加えて、その中で二つ目に、施設のあり方の議論というのを本当に適切にこれまでくみ上げながら、同時に議論を重ねて、そして方向性というのを出してきたのか。アプローチの問題というふうに仰っていただいたところもございます。そして、改めて原点も振り返りながら、方法論も含めてこれからのあり方というのを考え直していただきたいというのも、今日のご議論の二つ目の重要なポイントだったかなというふうに思っております。大きな三つ目はやはりこうした施設のあり方ということを考えていった時に、本市全体の将来を考えた上で、どういう位置にどういう施設がどのように配置をされることで、これからの市の持続可能な発展というのがあるのか。魅力のある湖南省になるたくさんの材料というのが、この地域の中にありますので、そういうものを生かしていくような施設配置を考えていく。それに対応した総合管理計画というのを考えていくことになるのだろうというふうに思っております。そうした市全体での最適な配置や各施設のあり方というのを考えていただきたい。こういうご意見もいただいていたかと思えます。小規模多機能自治はもちろん、重要な今後の市のサービスのあり方を支える考え方ですし、地域の住民の皆様方の暮らしを自らの手で支えていく、そういう新しい仕組みとして期待をされているところもあります。施設の配置や小規模多機能自治のあり方につきましては、推進委員会の役割ではないところもありますので、ご意見があったということで受けとめていただければと思います。公共施設等総合管理計画、個別施設計画のあり方、これらの施設が必要な市民サービスというのを提供し続けるということ。そして、もう一方では、本市のサービスを提供し続けることができることの見極め。各委員からの基本的な施設管理についての考え方をしっかり踏まえ、石部の案件につきましても今後、執行部

においてしっかりと議論をいただき、方針を明確に定め齟齬のないような手順を、打ち出され、今後取り組みを進めていかれることを希望させていただきます、この件については、以上にしたいと思いますが、各委員よろしいでございますでしょうか。

委員長

それではおよそ予定をした時間になりましたので、以上をもちまして本日の議題はすべて終了とさせていただきます。今日も本当に貴重なご意見をたくさんいただきました。本当に施設管理をしっかりやらないと後の世代に大きな負担を残すということになります。これまで施設を建設し、そしてそれを使ってきた現世代、その便益・利益を享受してきた側からすれば、この負債を次の世代に残すというのは非常に重い罪だと考えております。次の世代に負担を残さない或いは適切な負担の配分をしていくということが出来るか重要な観点かというふうに思っております。そうした観点でもこの公共施設等総合管理計画、個別施設管理計画というのは、実は極めて重要な役割を担っているというふうに考えてございます。そうした観点での着実な計画の改訂、進捗ということをお願いさせていただきますして本日の私の出番は以上にさせていただきますと思います。

事務局

委員長また各委員の皆様におかれましては、熱心にご議論いただきまして本当にありがとうございます。

公共施設等総合管理計画や個別施設計画に今回の意見や提案内容を反映させていただきますして次回、お示しをさせていただきますと考えておりますのでどうぞよろしくお願いたします。

3) その他

事務局

【その他について説明】

事務局

それではこれをもちまして第1回湖南省公共施設等マネジメント推進委員会閉会をさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

終了

閉会 11:40